

## □ 校歌の制定

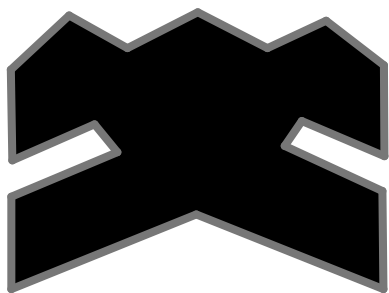
戦後の新教育が年を経るにしたがって軌道にのり、世の中も終戦当時よりは幾分落ち着きを取り戻しかけた頃、学校を中心となる校歌制定のことが先生方やPTAの間で考えられるようになりました。それが具体化して、大町小学校にふさわしい格調の高い校歌制定されたのは、昭和26年（1951年）3月です。

作詞は、上伊那郡箕輪出身の歌人 藤沢 古実 氏  
作曲は、作曲家 高木 東六 氏

校歌の発表会は、3月18日（日）校歌発表演奏会として、中央から演奏家を招いて盛大に行われました。

校歌の歌詞について作詞者の藤沢氏ご自身の解説によりますと、  
第一章で、大町の自然を代表する飛騨山脈  
第二章で、郷土の恵みの認識  
第三章で、修学の精神  
第四章で、学童の将来への決意など  
を表現したものであるとされています。

## □ 校章の制定



昭和28年度は創立80周年にあたり、11月3日に記念式典が行われました。その記念事業として、講堂舞台引き幕の設置、開校80周年記念誌の編集発行、記念植樹などが行われました。この80周年を機会に校章を改めることになり、委員を委嘱して原案の作成をしました。

原案が提出されて最終決定までに職員会議で慎重に検討し、昭和29年2月9日に、帽章とバッジができあがりしました。